

# プランジャー測定対象エレベーターの技術情報

対象巻上機型式：SKE-750

対象巻上機のブレーキ構造について	1 項 1-1
プランジャーストローク測定方法について	2 項 2-1
要改善ブレーキの対策について	3 項 3-1、3-2、3-3、3-4
本件についての外部からの問合せ窓口、連絡先について	4 項



2022年5月19日

プランジャー測定対象エレベーターの技術情報

国土交通省の定める「安全確保のために改善措置が必要である構造ブレーキ(要改善ブレーキ)に該当するブレーキの判別方法、検査方法、及び要改善ブレーキの改善措置について以下に示します。

要改善ブレーキは、改善措置が完了するまで3ヶ月に1回プランジャーストロークを測定し、国土交通省指定の【様式2】に記入の上、建築基準法第12条第3項に基づく定期報告と併せて特定行政庁に報告して下さい。

また、改善措置が完了した場合には、特定行政庁および(株)三栄製作所に報告して下さい。

1. 対象巻上機ソレノイド型式について

プランジャーSP 有り(ソレノイド型式)	手動開放レバー	判定
ソレノイド	無し	脆弱該当なし
ソレノイド	有り	脆弱該当

1-1. ブレーキ構造図

図 1: シングルスプリングブレーキ構造図(ソレノイド)手動開放レバー無し

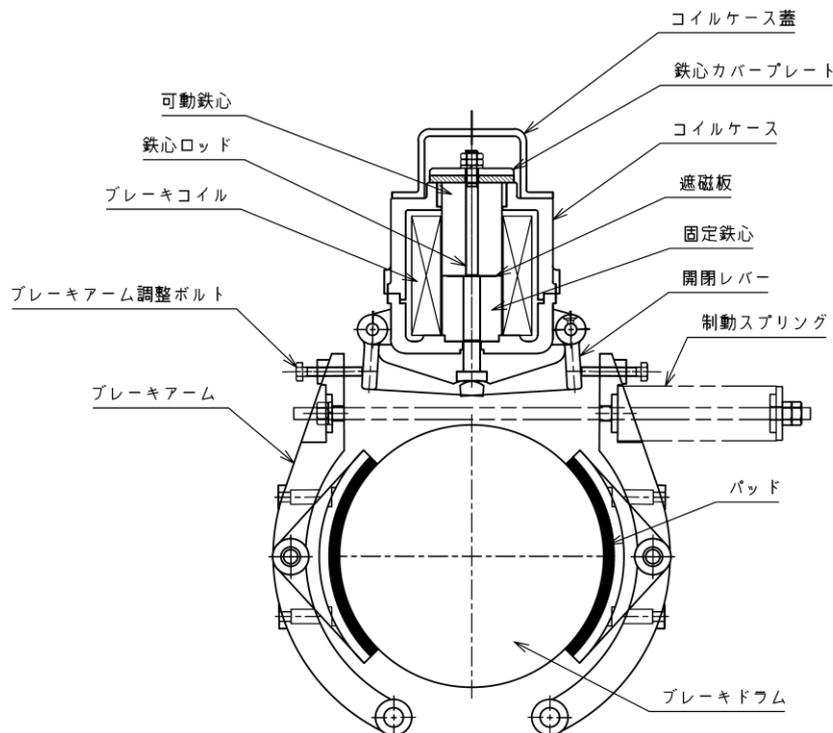
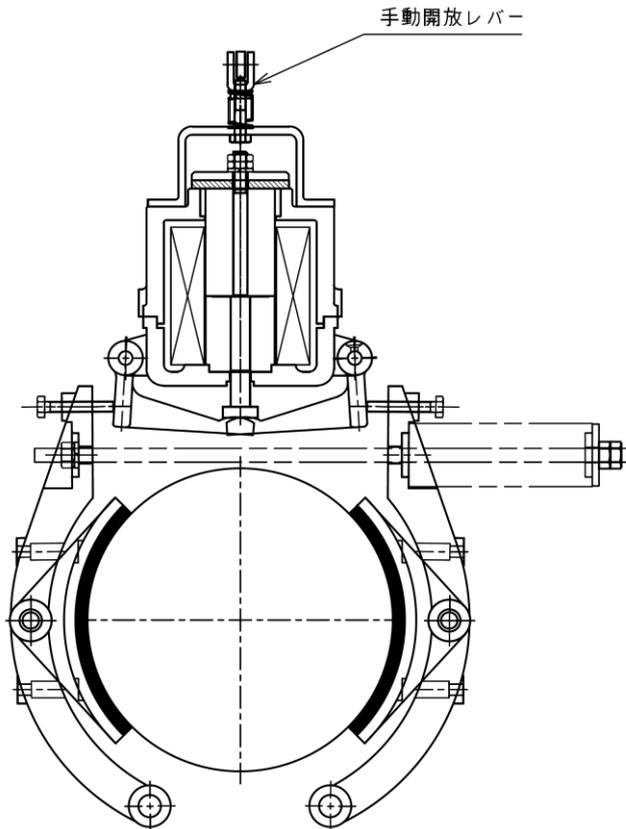


図 2: シングルスプリングブレーキ構造図(ソレノイド)手動開放レバー有り



2. プランジヤーストローク測定方法

2-1 項プランジヤーストローク測定手順を参照してプランジヤーストローク寸法を測定してください。

表 1 管理値外の場合は、直ちに管理値内となるように調整を実施してください。

(調整方法は、定期点検マニュアル(管理番号: 13-401-008-07)を参照ください)

表 1: 鉄心ロッドプランジヤーストローク管理値 (単位:mm)

		初期ストローク(A-B)	要是正ストローク(A-B)
SKE-750	図 1、図 2 の構造	1~3	4

## 2-1. プランジヤーストローク測定手順

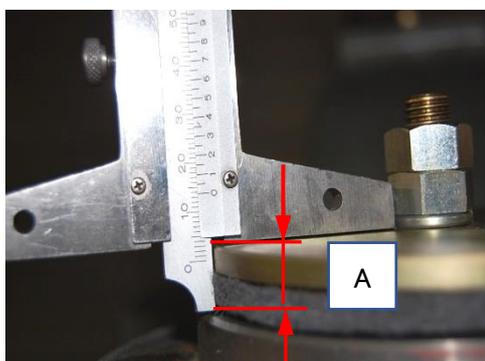
- ① カバーを取外す。(写真はソレノイド 手動開放レバーあり)



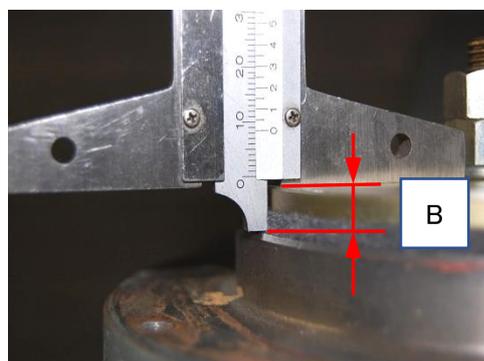
- ② プランジヤーストロークを測定して下さい。

ノギスの先端部は同じ箇所で測定して、A 寸法値から B 寸法値の差分がプランジヤーストローク値となります。

ブレーキ制動時(電源 OFF) (A 寸法) - ブレーキ釈放時(電源 ON) (B 寸法) = プランジヤーストローク寸法



ブレーキ制動時(電源 OFF)

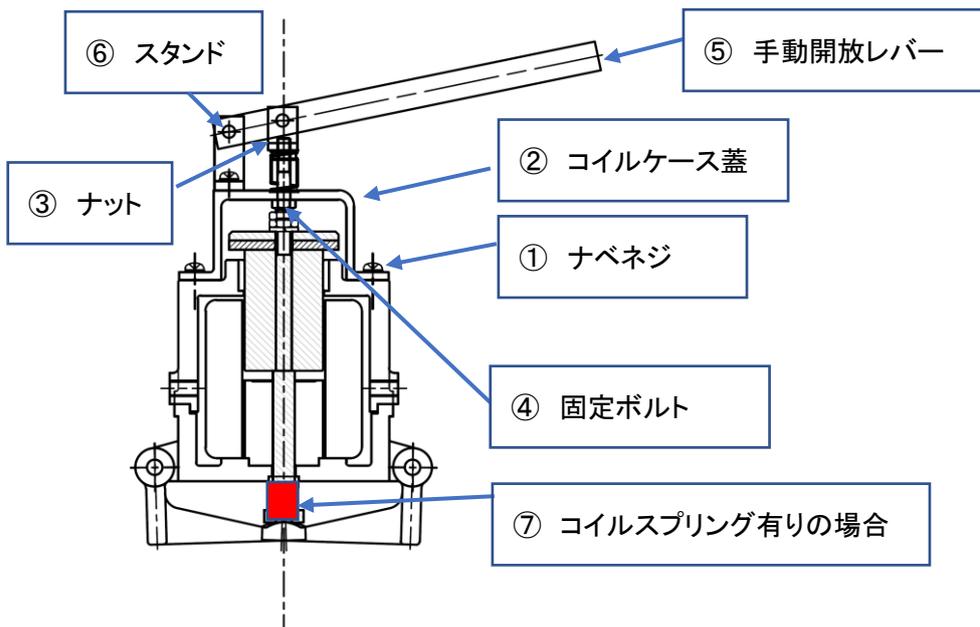


ブレーキ釈放時(電源 ON)

### 3. 要改善ブレーキの改善措置の方法

3-1. 本改善措置は、既存手動開放レバーを取り外すことで、プランジャー上部の先端がコイルケース蓋と干渉するまでの隙間を確保でき、要改善ブレーキを改善出来ます。

図 3: シングルスプリングブレーキ構造図(ソレノイド) 既存手動開放レバー有り



#### 3-2. 改善措置作業手順

事前準備として、かごを最上階に移動して、電源を OFF にします。

No.1: 3-1 項の図 3①のナベネジを 4ヶ所外すと、②コイルケース蓋が外れます。

No.2: スパナ等で③ナットを緩めて④固定ボルトを外すと⑤手動開放レバーがフリーになります。

No.3: ⑥スタンドを固定している六角ネジを 2ヶ所外すと、手動開放レバーが外れます。

取り外した既存手動開放レバーは廃棄して下さい。

No.4: 手動開放レバー取付穴(ブレーキコイルケース蓋)へは、穴埋めキャップを接着剤(瞬間接着剤:アロンアルファ等)で、取り付けて下さい。

\* 図 4 穴埋めキャップ取付方法を参照下さい。

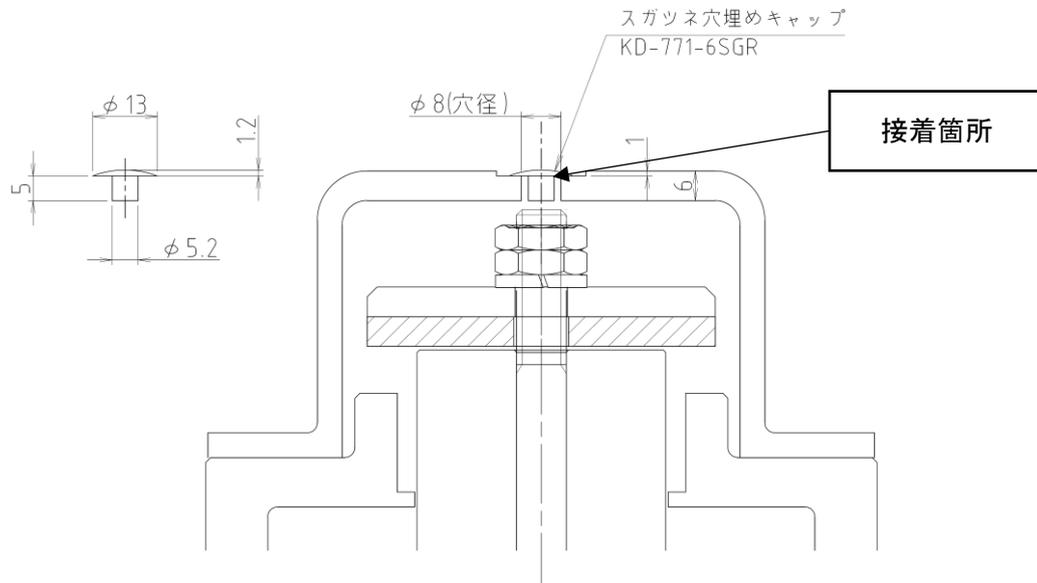
No.5: 改善措置が完了したコイルケース蓋を、ナベネジ 4ヶ所で取り付けて下さい。

No.6: 万一鉄心ロッド下部に、コイルスプリングが取付られている場合には、図 3 の⑦コイルスプリングをニッパ等で切断して下さい。切断したコイルスプリングは破棄して下さい。

尚、コイルスプリング切断時に鉄心ロッド側面に傷を付けないよう十分に注意して下さい。

卷上機型式：SKE-750

図 4: 穴埋めキャップ取付方法

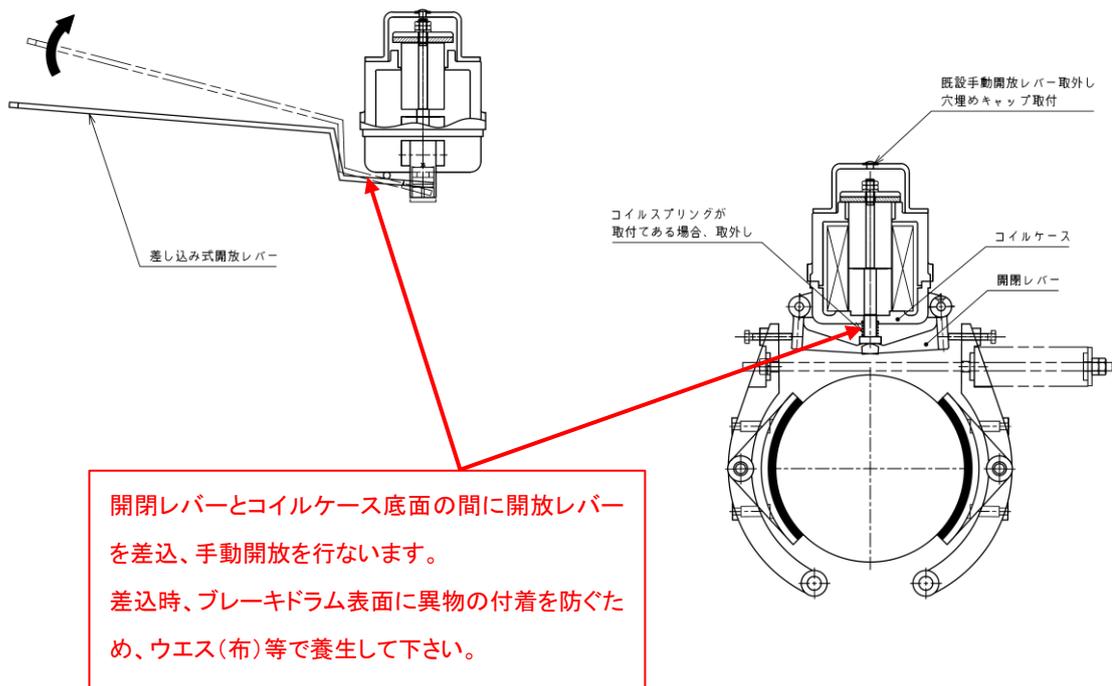


### 3-3. 差し込み式開放レバーについて

ブレーキ手動開放用として、既存手動開放レバーの代わりとして差し込み式開放レバーをご使用下さい。

図 5: 構造の概略図

既存手動開放レバーを取り外すことで、カバープレートへの干渉が回避されます。  
取り外した開放レバーの代わりに、差込式の開放レバーを使用して手動でブレーキを開放します。

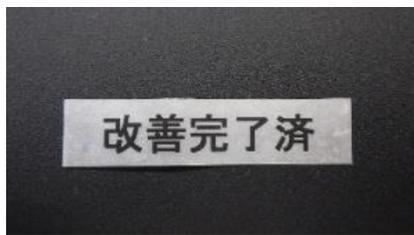


#### 3-4. 改善完了済のシール貼り付けについて

作業完了後に、改善措置完了を示す「改善完了済」シールをブレーキコイル上部カバーに貼り付けて下さい。

貼付場所が汚れている場合、ウエスで清掃をして接着面の清掃を行ってください。

「改善完了済」シールを示します。(支給品:12mm幅 銀地に黒文字)



#### 4. 問合せ窓口、連絡先

本件についての問合せにつきましては、以下にご連絡をお願い致します。

株式会社三栄製作所 問合せ窓口

担当: 品質管理

TEL: 0296-77-5141

E-Mail: maintenance@sanei-ss.co.jp